

味生まちづくり便り

編集：味生まちづくり協議会編集委員会
 場所：味生ふれあいセンター 3階
 住所：松山市別府町177-1
 Tel・Fax：904-2715
 Eメール：mibumachikyo@sgr.e-catv.ne.jp

味生地区まちづくり協議会 令和3年度の活動を開始します

令和3年度の定期総会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、令和3年5月27日に書面議決方式で実施しました。代議員の皆様にご協力いただき、賛成多数で可決されました。

☺ 味生地区まちづくり協議会って…？

身近な生活課題を地域住民自らが解決する活動を活発にすることを目的とし、平成30年5月に設立されました。平成30年10月には、「味生地区まちづくり計画」(計画期間:2018年10月~2028年3月)を策定し、取り組んでいます。この活動は、地域の関係諸団体の皆様のご協力を得て、思いやりのあるまちづくりを目指し、生活安心部、環境部、福祉部、地域振興部、教育文化部の各部会で事業を計画し、実施しています。

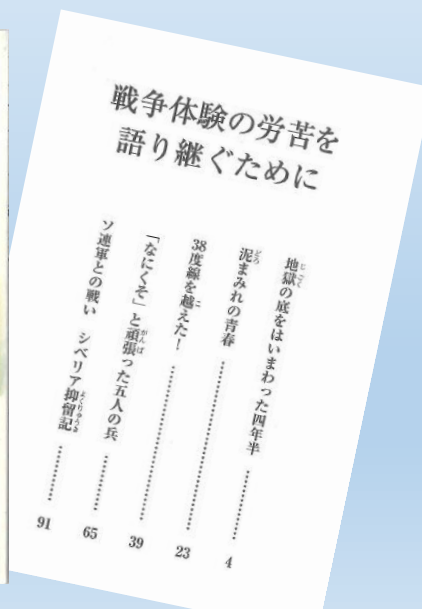
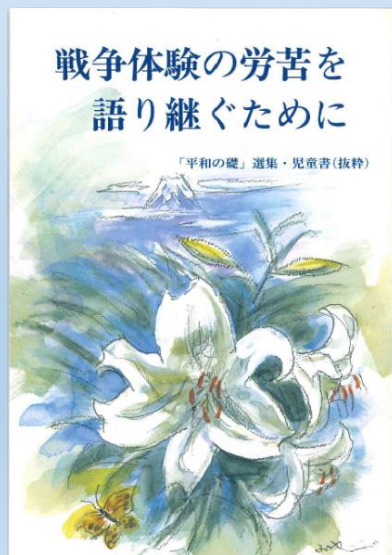
また、味生まち協を通じて、地域で活動している多くの団体を知っていただきたいと思います。

シベリア強制抑留者が語り継ぐ苦勞の児童書を松山市立小中学校へ

令和3年6月に一般社団法人全国強制抑留者協会から【戦争体験の苦勞を語り継ぐために「平和の礎」選集・児童書(抜粋)】100冊を味生公民館に寄贈していただきました。

味生公民館主催の味生第二小6年生との平和学習「戦中、戦後の語りべ」の会をきっかけにして、井原館長が働きかけ、全国強制抑留者協会愛媛県支部 愛媛のシベリアを語る会 事務局長 清水 凄子(せいこ)さんにご尽力いただき、シベリア強制抑留者が語り継ぐ苦勞が掲載された児童書が、味生公民館に届けられました。

100冊もの児童書ですので、味生公民館と味生まちづくり協議会とで協議して、松山市立小中学校の平和教育に役立てていただくよう教育委員会へ配布協力をお願いしています。



町内ニュース

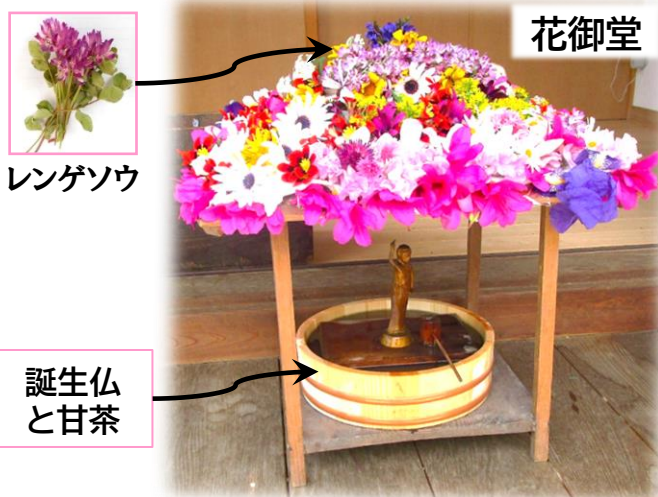
各町内の行事や新しい出来事を掲載しております。
紹介したい地域の情報をお知らせください。

花まつり復活！薬師庵 薬師如来堂（本尊：薬師如来・弘法大師）

南斉院町下仲屋にある薬師庵で令和3年4月8日（木）にお釈迦さまの誕生日を祝う花まつり「正式名称：灌仏会（かんぶつえ）」の伝統行事を復活しました。僧侶による法要と甘茶の接待がありました。

たくさんの花で花御堂（はなみどう）を作り、その中に誕生仏と甘茶を置きます。昔の花御堂は、ほとんどがレンゲソウで作られていました。

薬師庵お大師講



西側町恒例の「春祭り」開催

西側町に古来より伝承されています、「その昔町内に疫病が発生した際、大宮山山頂で疫病退散のお祓いをしたところ平癒した」事への感謝を祈念して、山頂に祠を建て毎年4月の第2日曜日に町内の春祭りとして、日吉神社の宮司と町内世話人及び居住者が参加して「五穀豊穡、家内安全、疫病退散」を祈祷すると共に、子供相撲を奉納して賑やかな伝統行事を行っています。

しかしながら、コロナウイルスの感染防止対策上、昨年到现在小・中学生の奉納相撲は中止し、3密を避ける事から、宮司、組当番、水利組合代表者の少人数による祈祷のみを4月11日厳かに開催しました。今年は「五穀豊穡、家内安全」の外、コロナ禍の一日も早い収束の祈願も併せて実施しました。



○大宮舎前での神事



○後方のブルーシートが土俵

*筆者が小学校に入学したのは67年前ですが、当時は今と違ってテレビやゲーム機等、娯楽道具の少ない時代、中学3年生が大将となって、大勢の神事参加者の大声援を受けて、賑やかな奉納子供相撲大会が行われていました。

今は子供会役員さんが中心となって、奉納相撲の伝統行事を継承しています。

西側町内会長 一色 勉